

**公益財団法人さんりく基金**  
**平成 27 年度第 2 回理事会 議事録**

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 平成 28 年 3 月 16 日 (水) 午前 11 時 00 分から午前 11 時 55 分
- (2) 場所 岩手県盛岡市内丸 17 番 45 号 北ホテル会議室 (秋桜)

2 役員の現在数 理事 6 名 監事 2 名

3 出席者

(1) 理事

代表理事	千葉 茂樹	業務執行理事	宮野 孝志
理事	菅野 信弘	理事	後藤 均
理事	望月 正彦		

(2) 監事

監事	菊池 芳泉
----	-------

(3) 事務局

事務局長	菅原 健司	事務局次長	千葉 敬仁
事務局員	藤原 杏奈	事務局員	川村 泉

(4) 関係者

岩手県政策地域部地域振興室地域連携推進監	高橋 浩進
----------------------	-------

4 欠席者

理事	植田 眞弘	監事	向井田 敏宏
----	-------	----	--------

5 議長

代表理事 千葉 茂樹

6 決議事項

- 第 1 号議案 平成 28 年度事業計画及び収支予算の承認について
- 第 2 号議案 公益財団法人さんりく基金事務局組織規程の一部改正について
- 第 3 号議案 公益財団法人さんりく基金代決専決規程の一部改正について
- 第 4 号議案 公益財団法人さんりく基金文書取扱規程の一部改正について
- 第 5 号議案 公益財団法人さんりく基金公印管理規程の一部改正について
- 第 6 号議案 公益財団法人さんりく基金委嘱者の任用等に関する規程の制定について
- 第 7 号議案 平成 27 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

## 7 議事の経過

午前 11 時 00 分開会した。

宮野業務執行理事が理事現在数 6 名中、本人出席 5 名により、定款第 37 条に定める定足数を満たしており、本理事会は成立した旨を告げた。また、監事には理事会運営規則第 13 条の規定により、理事会に出席し、意見を頂くこととなっているとの説明があった。続いて、千葉代表理事から、あいさつがあった。

続いて、定款第 39 条第 2 項により、議事録署名人は千葉代表理事、菊池監事であることを確認し、以降の進行は、定款第 36 条の規定により、千葉代表理事が行うこととなった。

報告 (1) 「職務執行の状況について」

(2) 「日本版DMO候補法人の登録申請について」

議長は、報告を求め、宮野業務執行理事が報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めた。

### 【菊池監事】

日本版DMOの計画の件で、13 ページの実施体制図の中に、金融機関が入っていない。どこにどのように関わってくるかお聞きしたい。

### 【宮野業務執行理事】

実施体制図の中には、金融機関は入っていないが、連携する事業者の中で記載させていただいている。これから実際に動いていく中で、こういった事業者や関係機関と連携をとり、会議等や個別に相談しながらすすめていきたい。

### 【菊池監事】

金融機関だけ記入漏れということではないか。

### 【高橋地域連携推進監】

実施体制図については、記入スペースの関係もあり、こういう形での記載にしている。11～12 ページの連携する事業者の中で位置づけているところ。

### 【菅野理事】

日本版DMOの全国的な申請状況を教えてください。

### 【高橋地域連携推進監】

2月26日付けで、第1回目の登録状況が発表され、24件の登録となっている。

日本版DMOというのは、制度上、3つの区分がある。複数の都道府県にまたがるエリアでの組織を広域連携DMO、複数の地方公共団体にまたがるエリアでの組織を地域連携DMO、単独市町村単位での組織を地域DMOとしている。

広域連携DMOは2件、これは関西と瀬戸内であり、地域連携DMOは11件、地域DMOは11件の合計24件である。なお、東北からは、秋田県と山形県が地域連携DMO

で登録されている状況。

**【菊池監事】**

昨日、岩手県観光協会の理事会に出席し、その際もDMOの話題となり、皆さん興味関心があったところ。

専門人材の2人は、大体目途はついているのか。

**【高橋地域連携推進監】**

これから公募等によって選定、任用したい。観光プロデューサーについては、これから公募予定であり、中核コーディネーターについては、現在、人選を別途進めているところ。

**【菊池監事】**

いつ頃から配置するのか。

**【高橋地域連携推進監】**

4月からの設置を予定している。観光プロデューサーはこれから公募するので、少し時期が遅れる見込み。

**【菊池監事】**

専門人材について、給与手当等計上しているが、これは4月からの採用を想定しての金額なのか。もし、採用が遅れ、その分の給与等が減るという場合は、国に返還することになるのか。

**【菅原事務局長】**

予算上は、4月分からの金額ということで計上しているが、全体の事業ということで、人件費だけでなく、調査事業等さまざまな事業があるので、その中で調整しながら全体的にトータルで推進していく。

**【菊池監事】**

11 ページの職員数9人のうちの専任2人というのは、専門人材の2人を想定しているのか。

**【高橋地域連携推進監】**

これは現時点での職員数を記載しているもの。

**【菊池監事】**

今後、DMO関連についてさんりく基金が実際の運営をしていくことになるかと思うが、1億円超の事業を、人間的に今の体制で十分やっつけられるものなのか。

**【菅原事務局長】**

今までも県職員が職務専念義務免除という形で兼務している。現在すすめている三陸総合振興準備室で業務を担当している職員が引き続き兼務し、さらに人数を拡充しながら、体制を整えていきたい。

**【菅野理事】**

DMOとしては、観光や旅行が大きく出ているが、大学生向けの就業体験やインターンシップも取り込んでもらえれば、我々も協力できるのでご配慮いただきたい。

**【菅原事務局長】**

定住交流や地域コミュニティへの支援も基金の中で取り組んでいるところであるが、今回は、総合的な角度から三陸地域の振興策を進めていくこととしている。まずは、国で日本版DMOという制度があったので、その制度を活用し、外部資金を獲得しながら、交流人口の拡大を中心に取り組んでいくという位置付けにしているが、ご指摘のあったインターンシップの推進等は県でも取り組んでいるので、基金としても連携しながら進めていきたい。

その他発言はなく、議案の審議に入った。

**第1号議案「平成28年度事業計画及び収支予算の承認について」**

議長は、第1号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第1号議案について質問、意見を求めた。

**【菊池監事】**

委託費の4000万円の中身は何か。DMOの関係ということでもいいか。

**【菅原事務局長】**

DMO計画の中の三陸広域観光マーケティング調査や震災教育旅行コンテンツ作成等にかかる委託費である。

**【菊池監事】**

どこに委託するのか。相手先は誰か。

**【菅原事務局長】**

マーケティング調査については、コンサルタント会社への委託を想定している。

今後整備する専門人材や関係市町村等の意見を伺いながら、効果的な事業となるように調査手法を考え、実施して参りたい。

**【菊池監事】**

相場を聞いて見積もったものとは思いますが、かなりの高額なので、きちんと相手先を選定して頂きたい。

**【宮野業務執行理事】**

補足になるが、DMO関連の委託の他に、公共交通網形成に向けた調査分析事業に関する部分も委託費に含まれている。

**【菅野理事】**

公益目的事業の3.4について、27年度で「東北マリンサイエンス拠点形成事業」、岩手大学の「三陸海洋産業復興研究・教育拠点形成事業」も終わりになる。もしかすると、基金に申請がたくさんくる可能性がある。

もうちょっとでモノになりそうだという種がいくつか出てきている。そういったものが多く申請してくることが、可能性としては考えられる。申請の状況を見て、いいものがたくさんあるとなると、幅をもたせて対処しておくことはできないか。

**【菅原事務局長】**

「調査研究事業」については、今年度も3件に対して、18件申請があり、ニーズが高くなってきているという状況。その一方で、「研究開発シーズ事業化事業」では、申請1件、採択0件となっているものであり、その状況を考えて計画したものである。

効果があがるものという視点で採択して参りたいと考えているが、特に効果的な事業がたくさん出てきた場合は、全体の予算をみながら、拡充できるか検討していきたい。

**【宮野業務執行理事】**

これまでも採択については、それぞれの助成事業で余るものもあり、全体として流用するなど柔軟に対応してきているところ。状況を見ながら対応していきたい。

**【菊池監事】**

それでは、イベント助成事業についても採択件数1件とあるが、この件数にこだわるものでないということでもいいか。

**【宮野業務執行理事】**

件数は、助成上限額がそれぞれ決まっているので、予算額を上限額で割って出した数字である。これで縛るということではない。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

**第2号議案「公益財団法人さんりく基金事務局組織規程の一部改正について」**

議長は、第2号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第2号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

**第3号議案「公益財団法人さんりく基金代決専決規程の一部改正について」**

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第4号議案「公益財団法人さんりく基金文書取扱規程の一部改正について」

議長は、第4号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第4号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第5号議案「公益財団法人さんりく基金公印管理規程の一部改正について」

議長は、第5号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第5号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第6号議案「公益財団法人さんりく基金委嘱者の任用等に関する規程の制定について」

議長は、第6号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第6号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第7号議案「平成27年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について」

議長は、第7号議案について事務局に説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が、第7号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

①開催日時 平成28年3月23日（水）午後2時

②開催場所 北ホテル会議室

③議事に付すべき事項

・平成28年度事業計画及び収支予算の承認について

その他 「県出資等法人に係る中期経営計画書について」

議長はその他協議事項について説明を求め、菅原事務局長が説明した。

議長が質問、意見を求めた。

#### 【菊池監事】

人員が増えるわけだが、執務の場所は現在と同じように県庁の中か。

#### 【菅原事務局長】

県の三陸総合振興準備室をマリオスの3階に設置している。そちらで、現在、業務をすすめている職員がさんりく基金の職員を兼務するという形になる。その他に専門人材も配置して、拡充していく。

#### 【菊池監事】

県庁とマリオスで分かれるということか。そのためにそれぞれの部を設置したという

考えか。マリオスの家賃はかからないのか。

**【菅原事務局長】**

県庁とマリオスと2つの事務所になる。

家賃に関しては、県が、三陸総合振興準備室の入っている全体のフロアを借りているので、基金としては発生しないもの。

議長がその他質問、意見を求めたが、特に発言はなく、その他を終了した。

最後に、議長が、質問、意見を求めた。

**【望月理事】**

DMO関連の中での取組になると思うが、最近特に気になるのが、外国人の東北地域に来る人数が少ないこと。昨年度、訪日外国人が1341万人、今年度1170万人となっているが、訪問率をみると、東京が60パーセント弱、関西が40パーセント弱、東北はというと3パーセントしかない。つくづく感じるのは、東北の情報発信力の不足、受け入れ態勢の未整備である。外国語表記のあるホームページはほとんどないという現状。是非、基金の取組をすすめる中で、外国人を取り込むことを意識して取り組んでほしい。

**【菊池監事】**

今回のDMO計画の交付金を有効に使うべきである。2019年にラグビーワールドカップがあるということで、決して釜石だけの話ではなくて、県の観光事業者がこれをチャンスと捉えている。マーケティング調査の中で、どういう外国人が来て、旅行客を呼ぶためにはどうすればいいか、また、どういう波及効果や経済効果があるかということも含めて調査をしてほしい。3年後であるが、是非今のうちから準備をしてほしい。それも念頭にいれていただきたい。

**【宮野業務執行理事】**

インバウンドについては、各県各部各課いろいろな取組があり、三陸ジオパークも大きな組織として、インバウンドを意識して、外国語表記の看板やホームページを作成している。関係団体のそういった動きとも連動して進めていきたい。

また、ラグビーワールドカップは、県の別の所管において、今の話等も含め動いているので、連携して役割分担をしながら取り組んでいきたい。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午前11時55分閉会を宣し、解散した。